

地震・津波対策検討会議を開催

東日本大震災の発生を契機に「港湾における総合的な津波対策のあり方（中間とりまとめ）」（平成23年7月6日 交通政策審議会港湾分科会防災部会）などがとりまとめられ、港湾における地震・津波対策の基本的な考え方が示されました。

これを受け、中部地方整備局では、東海・東南海・南海地震等の大規模地震による地震・津波に対する防災・減災対策を広域的に推進するため、管内の主要な港湾において関係者で構成する検討会議を順次設置・開催しており、三重県内では、四日市港及び津松阪港において、地震・津波対策検討会議を設置しました。

今後、港湾における防災・減災目標の明確化を図り、防災施設等の整備や避難対策の強化に関する方針、港湾機能の早期復旧に関する計画（港湾BCP）策定に関する方針等からなる地震・津波対策基本方針の策定を目指すこととしております。

四日市港湾事務所 地震・津波対策検討会議のホームページ
http://www.yokkaichi.pa.cbr.mlit.go.jp/jishin_tsunami_kaigi/jishin_tsunami_index.html



第1回 四日市港 地震・津波対策検討会議
(H23. 9. 29開催)



第1回 津松阪港 地震・津波対策検討会議
(H23. 10. 3開催)

「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル
 おーいに よくなれ みなと

フリーダイヤル
0120-497-370

【受付時間】9:00～12:00 13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

●全国どこからでも、この電話番号で最寄りの「海とみなとの相談窓口」につながります。



国土交通省中部地方整備局



四日市港湾事務所

〒510-0064 三重県四日市市新正三丁目7番27号
 TEL:059-351-1357 FAX:059-359-0513



津松阪港事務所

〒514-0021 三重県津市万町津150番地 市川ビル1階
 TEL:059-213-3880 FAX:059-213-3884

URL

<http://www.yokkaichi.pa.cbr.mlit.go.jp/>

E-mail

KCYONKOU852a@pa.cbr.mlit.go.jp

総合防災訓練を実施しました ～みなとの安全 暮らしの安心を守るため～

東日本大震災を踏まえた、実態に即した災害対応の充実を図ることを目的として、9月に総合防災訓練、11月に津波防災訓練を実施しました。

総合防災訓練では、大型地震・大規模津波と台風接近という災害想定の下、迅速な被災状況把握、関係機関との連携強化、所管施設の応急復旧及び二次災害防止をテーマとして訓練を行いました。

被災状況の把握では、災害時における港湾の重要な役割の一つである食料等の緊急輸送物資の受け入れに関して、耐震強化岸壁、コンテナバースの状況確認を第一に行い、次いで地区ごとに利用できる岸壁の整理を行いました。二次災害の防止に関しては、高潮予測システムを用いて台風時の潮位を予測し、港湾及び背後地への影響の把握に努めました。

また、災害時には、通信網が混乱をするため、衛星電話を用いた情報伝達訓練も行いました。

「みなとの安全！暮らしの安心！」を守るため、引き続き災害対応に万全の体制がとれるよう努めてまいります。



9/1 総合防災訓練で被災状況を報告



9/8 事務所訓練で衛星電話を習熟



国土交通省中部地方整備局



四日市港湾事務所



津松阪港事務所

港の楽しさ再発見！「四日市港まつり」



8月7日（日）四日市港ポートビル周辺において「四日市港まつり」が開催されました。

メインイベントのカッターレース大会をはじめ、港内クルージング、展望室無料開放、クイーン四日市撮影会、各種展示コーナー、フリーマーケットなどに約1万2000人が訪れ賑わいました。

四日市港ポートビルでは、四日市海上保安部、四日市税関支署などの港に関係する各団体による展示が行われ、当事務所も事業PRを目的として、模型・パネル展示、広報誌配布、映像・ゲームなどを用いて、港湾・海岸整備事業の紹介を行いました。



四日市港湾事務所ブースの様子

今回は、東日本大震災で社会資本インフラに壊滅的な打撃を与えた津波や液状化への関心の高まりから、「津波再現模型」や「液状化実験装置」を用いて、津波の発生や液状化現象の仕組みについて説明を行いました。

子供達は、発生させた津波が家に到達する様子を注意深く観察していました。その後、家の前にテトラポッドを置き、津波を遡減することに成功した時は、うれしそうにしていました。

液状化現象の説明では、「この地域は液状化するのか？」等の質問もありました。

また、東日本大震災で災害対応を支援したテックフォース派遣などをパネルを用いて紹介しました。

当日は多くの方の来場があり、地域の方々の港や防災への関心の高さを感じました。



津波再現模型



テックフォース紹介

家族連れには、「四日市港まつり」初の取り組みである、四日市市の「こにゅうどうくん」や四日市港の「ポルテクん」などのマスコットキャラクター15体が集合する「ゆるキャラ大集合！」が好評でした。

引き続き地域の方々の声をお聞きしながら、港湾・海岸整備に取り組んで参ります。



四日市港見学会を開催！

～小中学生が海上から大型船舶の入出航を見学～

中部地方整備局では、地域の皆様とのコミュニケーション推進の一環として、社会資本を通して「総合的な学習の時間」（総合学習）を支援する様々な取り組みを行っています。四日市港湾事務所では、見学船から港を観察し、仕組みや役割について学んでいただく、「四日市港見学会」を開催しています。

平成23年度は、4つの小・中学校（約70名）の総合学習のお手伝いをしました。

波は穏やかで港内見学をするには絶好の日和の中、救命胴衣を身に着けた生徒達は、海上から約45分間の四日市港見学を体験しました。コンテナ船や自動車専用船などの大型船舶、多くのコンテナが積み上げられているコンテナヤード、広大な石油コンビナート、旧港の潮吹き防波堤など、普段見ることができない海からの眺めに、驚いている様子でした。

今回はラッキーなことに、大型船舶の入出航を見学できたり、スナメリ（クジラ目ネズミイルカ科に属する世界で最も小さなイルカ・クジラの仲間。体長1.6～1.9m、体重50～60kg）に遭遇できたりもしました。

生徒達は、大型船舶が近くに迫ってくると、「大きい～！」と歓声を上げ、「自動車専用船に自動車は何台積めるの？」、「岸壁と船の間にある黒い大きなものはなに？」など、次々と質問をしていました。

中部地方整備局では、豊かで活力ある中部作りのために、中部各地で港づくり、川づくりや道づくりといった社会資本整備を進めています。こうした公共事業について、ご理解を深めていただこうと、多くの方に実際の工事現場や見学施設ご覧いただけるよう、ご案内いたしております。



大型コンテナ船と見学船
間近まで近寄り大迫力！



コンテナ船出航！
奥は自動車専用船です

中部地方整備局 総合学習支援のホームページ
<http://www.cbr.mlit.go.jp/child/child.html>



世界最小のくじら
「スナメリ」